



あの日のこと

主任司祭 加藤 信也 S. J.



京都府で小学六年生の男児の遺体が遺棄されるという悲惨な事件が起こった。義理の父親が殺害を認めているとのニュースもあるが、原稿を書いている今の時点では、まだ真相は明らかにされていないらしい。最近の TV ニュースでは、親から子への DV（家庭内暴力）は年々増えつつあるとも語っていた。

何年前のことだろう、夕食の最中に電話が鳴った。受話器を取って呼びかけても返事はなし。仕方なく受話器を置くとすぐにまた電話が。今度は男性が出て、どうして電話を切ったと激しく怒っている。説明しても、相手はこちらを嘘つき呼ばわりするばかり…。

アルコールを飲んでいるらしく、口調はかなり乱暴だ。こちらはカトリック教会であり対応しているのは神父だと分かっているため、最後まで付き合う以外ないと覚悟して罵倒され続けた。

30 分程も過ぎた頃、突然彼はある人の名前を出して「知っているか」と尋ねてきた。それが自分の父親で、7 歳から 14 歳までの間、殴る蹴るの DV を受け続けたと語り始めた。7 歳の頃とは両親が離婚した時期らしく、14 歳で DV が止まったのは、自分の身を守ろうとナイフを持つようになったからとのこと。

家族や親せきの誰も助けてくれず、腫れあがった顔で登校して先生に尋ねられても本当のことが言えなかったという。その後、彼は家を出て遠い地で一人暮らしを始めたものの、40 年以上過ぎても、心に大きな傷を抱えているのは明らかだった。父親を殺してやると何度も言いながら、神父である私から父親に意見してやってほしいと言うのが精一杯。

エネルギー切れか、すべてを吐き出して興奮が収まったのか、電話の声は次第に小さくなり消えていった。教会とか信者の家庭という一見平和に見える場所に潜む地獄を見せられた思いだった。

電話の主が語ってくれたことの真偽のほどは明らかではないが、身勝手に暴力的な父親の罪が小さな子供の身も心も傷つけ、その後の人生を「独りぼっちの世界」に押し込めてしまったようだ。

同様のニュースを耳にしても驚かなくなってしまった昨今だが、冒頭の事件の報道に接しながら、あの日の受話器の向こうの彼とのやり取りを思い起こした。「大人は罪を犯し、しかし子供がするのはせいぜいいたずら」、そんな言葉を思い起こす。

第1回地区役員会議事録(要約)

日時：2026年4月5日 12:30～13:30

場所：第1・2会議室

出席者：加藤主任司祭、中村小教区評議会議長、各地区役員代表

1. 主任司祭挨拶

新年度に入った。引き続き、皆様の協力をよろしく願いたい。

2. 役員自己紹介

新旧役員の自己紹介を行った。

3. 報告事項

1) 教会行事表・連絡網配布 (3/14～3/22 の土日)

- ・未受取り分の封筒を信徒宅に届けた地区では、住民不在のケースがあった。転居したが、教会に転出手続きを出していないなどの状況だったと思われる。
- ・統一化を図ったはずの「受領チェックリスト」の形式が異なる地区があり、手渡しに手間取ることがあった。今後は、「受領チェックリスト」の雛形と配布手順書に沿って全地区で統一した受領チェックリストおよび封筒を作成することを確認した。

4. 検討事項

1) 復活と初聖体のお祝い会 (4/12) 地区会・教会学校主催

洗礼者 15 名、初聖体 5 名、転入者 20 名を招待している。出席者は 200～250 名を想定している。多くの出席者を想定しているのでロビーも解放する。会場設置は前日に教会学校が実施する。地区役員は当日 9 時に集合し、ごみ箱の設置、料理の準備を行うこと。

5. 地区会の今後について

- ・教会行事の地区会の負担が大きく軽減した現在「今後の地区会の役割」について意見交換を実施した。地区交流会(7/5)にて各地区の信徒と「今後の地区の役割」(地区会に期待するもの)について意見交換を予定。詳細は 6/7 の地区役員会にて打ち合わせをする。

6. 今後のスケジュール

1) 6/14 新受洗者・転入者説明会

- ・新受洗者・転入者の出席が予定されている地区役員は参加のこと。6/7 の地区役員会にて新受洗者・転入者の出席者リストを確認する。
- ・軽食の準備は壮年会が用意する。

2) 地区交流会

- ・地区交流会当日の 10 時ミサは、各地区の座席位置を設定し、各地区の信徒がお互いに面識を得やすい環境を整えることが提案された。当提案は 5/3 の小教区評議会の協議事項となった。

7. その他

1) 2026 年教会掃除当番の各班への教会からのメールシステム活用について

- ・水、木、土、日の掃除班は教会メールシステムを活用することになった。金曜班が教会メールシステムを活用する場合は、教会事務に活用を依頼すること。

以上

次回 第2回地区役員会 6月7日(日) 年次報告会后 12:00～

2026年度 講座・集いのご案内

入門講座（洗礼を受けていない方はこちらへ）

曜日	週	開始時刻	クラス名	対象年齢	担当者	開催場所
日	第2・4	11:15	入門講座	-	増井神父	第3会議室
木	毎週	10:30	入門講座	-	加藤神父	第4会議室
金	毎週	19:00	入門講座	-	加藤神父	第4会議室
土	第1・3	16:30~17:30	青年キリスト教・聖書講座	青年(18~35歳)	渡辺神父	信徒会館 1Fロビー

信徒養成講座

曜日	週	開始時刻	クラス名	対象年齢	担当者	開催場所
日	第3	11:15	ミドル世代の信仰フォローアップ講座	ミドル世代	シスター野本	第3会議室
火	毎週	10:00	聖書を味わう会	-	渡辺神父	第1・2会議室
水	第1・3	10:30	福音のよるこびを生きる	-	こいずみゆり	第5会議室
	第4	10:30	『兄弟の皆さん』を読む	-	岡村祥子	第5会議室
金	第3	19:00	『カトリック教会のガキズム』を読む	-	岡村祥子	第1会議室

祈りの集い

曜日	週	開始時刻	集い名	対象	担当者	開催場所
日	第1	13:00~14:30	「祈る会」 —イエスに出会い、信仰を深める旅—	信徒	シスター野本	第3会議室
木	第2・4	19:00	聖体礼拝	どなたでも	渡辺神父	小聖堂

定例的に行われる集い

開催日	開始時刻	集い名	対象	担当者	開催場所	
日	第2・4	11:00	中高生会	中高生	渡辺神父	第5会議室
	第4	11:00頃 (10:00 ^時 後)	子どもを持つ親の集まり	子どもを持つ親	スタッフ	信徒会館 1Fロビー
	第4	11:00頃 (10:00 ^時 後)	キッズの集い	小学生以下の子ども	中高生会 (渡辺神父)	イグナチオホール
	4、7、10、1月の 第4	15:00~20:00	イエズス会召命の集い	18歳以上40歳未満の男性信徒 (関心のある方は まず当教会にお越しください)	渡辺神父	六甲教会内
	5、8、11、1月の 第5	11:30~14:00	青年ランチ会	18歳~35歳 (関心のある方は まず当教会にお越しください)	渡辺神父	信徒会館 1Fロビー
月	第2	10:00	映画を観る会	どなたでも	渡辺神父	第1・2会議室
木	第1・3	16:00	にほんごカフェ	日本語学習者	渡辺神父	信徒会館 1Fロビー
	第2・4	14:00	お茶っこ麻雀サロン	どなたでも	渡辺神父	信徒会館 1Fロビー
土	第1~4	14:30	教会学校	小学生	リーダー	信徒会館
	第1 or 2	19:00	壮年会	35歳~69歳信徒	加藤神父	イグナチオホール
5/13(水)11:00、9/21(月)11:00 11/11(水)13:00、1/13(水)11:00			三日月会例会とミサ	70歳以上の信徒	担当司祭と スタッフ	イグナチオホール
(前期) 2026年9月 6・13・20・27日		14:00	結婚準備セミナー (4回シリーズ)	カトリック教会で 結婚式を望む人	セミナー スタッフ	
(後期) 2027年2月 7・14・21・28日		14:00	結婚準備セミナー (4回シリーズ)	カトリック教会で 結婚式を望む人	セミナー スタッフ	

はじめて参加される方は教会事務室へご連絡ください

問い合わせ：カトリック六甲教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21 Tel 078-851-2846 Fax 078-851-9023

小教区評議会は4月18日の新旧役員研修会で、新年度の各専門部会、各会の活動計画を次のように確認しました。なお、状況により今後変更が生じることもあります。

2026年度各部・各会の活動計画(改訂版)

各部・各会	2026年度活動計画
典礼部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規典礼奉仕者を増やす 2. 侍者錬成会(7月に2回) 3. 典礼講習会(9月27日11時15分から約1時間)、典礼奉仕者講習会(同13時30分から約1時間半) 4. 音楽奉仕者の集い(随時) 5. 祈りと音楽の集い(4回/年) 6. ミニコンサート(4回/年)
宣教・養成部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黙想会の企画と実施(待降節、四旬節) ※今後は教会付きの神父様の指導 2. 平和月間「平和を祈る集い」の企画と実施 3. 巡礼の企画と実施(準備講演会を含む) ※ 4. 結婚講座の開催
社会活動部	<p>活動の基盤は、社会の谷間にいる人、虐げられている人に目を向けて彼らを支援し、彼らと共に生きる活動を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 炊き出し…野宿者、生活困窮者支援の炊き出しを8月と11月を除く毎月第2土曜日、小野浜公園で実施。年末年始の越年越冬の炊き出しにも参加。 2. カトリック社会活動神戸センターからの要請に応じて、野宿者、生活困窮者の生活必需品や物資支援なども行う。 3. 各ボランティアグループによる、障がい者や児童養護施設の子ども支援など
広報部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教会報関連:教会内外のニュースを吟味して掲載。さらなる充実を目指す。通常号の頁数は10頁前後とする。 2. 「教会のしおり改訂」を検討。 3. 「教会リーフレット」は、教会でのイベント時に適切に配布。適時増刷。 4. 六甲教会の紹介ビデオを撮影・発信する。(加藤神父様と相談) 5. 聴覚障害者、難聴者への情報保障(要約筆記、AI活用など)検討に着手。 6. 掲示板の展示を積極的に行い、道行く人にアピールする。 7. SNSチームの活動のあり方を考え、活性化させる。
施設管理部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 更新と事業計画;防水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・信徒会館本館・増築部屋上の防水対策:応急処置部の防水シート改修 ・聖堂屋上(室外機設置部)・司祭館屋上および外壁:経年劣化・損傷調査と改修計画 2. 設備の点検と長期修繕計画の策定 3. 施設管理部員の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・委員の世代交代に伴う組織の刷新
防災委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災・防犯および命を守ることにに関する情報管理および啓発活動 <ol style="list-style-type: none"> ①消防点検について ②防災意識の啓発活動:消防署の報告、AEDの再実習など ③防犯意識の啓発活動 2. 防災備品等の充実
三日月会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢化社会にあって、会員の心身の健康維持に役立つ講演やイベントの実施 2. 最大人数グループとして、教会に役立つ奉仕の模索 3. 病者の仲間の支えとなる活動一例えば 祈り 4. 若い人たちとの交わり ― 懇親会など通じての分かち合い
婦人会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神父様方に相談しながら、婦人会としてどのように行動していくか、方向性を考えていきたい。 2. 10月に壮年会と共に教会遠足を計画・運営する。(予定日 2026年10月17日) 3. (婦人会の計画としてよいかわからないが)新しいイグナチオ喫茶の運営を行う。

壮年会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 6月新受洗者・転入者説明会において軽食の提供 2. 10月に婦人会と共に教会遠足を計画・運営する。 3. イグナチオ喫茶担当グループとして年間2回～3回運営する。 4. 教会大掃除および落ち葉の季節の掃除に参加する。
青年会	<ul style="list-style-type: none"> ・青年(18-約35歳)を対象としながら、第1・3土曜日16:30-17:30は勉強会を開く。 ・隔月程度で食事会も開く予定。 ・合宿も人が集まりそうであれば、年に一回程度開きたい。 ・また、毎月第4日曜日の「子どもと共に捧げるミサ」内で、中高生とバンドを組んで演奏をする予定。
中高生会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2・4日曜日10時ミサ後に集まりを行う予定。 ・第2日曜日は勉強会を開く予定。 ・第4日曜日は「キッズの集い」という中高生が主体となり小学生以下の子どもとBBQやボール遊びなどをして教会のきょうだいとして交流を深める企画をする予定。 ・春・夏・秋にそれぞれ合宿を行いたい(春と秋は六甲教会内で、夏は広島の予定)。 ・クリスマスにはクリスマス会を行う予定。 ・また、毎月第4日曜日の「子どもと共に捧げるミサ」内では中高生も加わる音楽バンドの演奏をする予定。
教会学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教会は常に未来を見据えていかななくてはならず、その為には子どもたちの信仰教育が大切だと考えている。 ・次の時代の教会を担う子どもたちの育成と同時に神さまを求めてくる子どもたち、親御さんたちの福音宣教の役目も担っている。 ・教会学校は日ごろの活動やキャンプなどの行事を通して子どもたちへの信仰教育とリーダーの育成を目指して活動していきたい。
地区会	<ul style="list-style-type: none"> ・信仰に根ざした信徒間のコミュニケーション、教会行事で培われた‘つながり’を通して六甲教会共同体の活性化を図り、神との‘つながり・交わり’を大切にし、互いの信仰を深め合う。 ・地区会の役割分担低減と、地区役員後継者不足を踏まえ、地区会の再編を検討する。
評議会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 六甲教会2026年度活動計画の進捗管理とフォロー 2. その他活動 <ol style="list-style-type: none"> ① 六甲共同体説明会および教会大掃除の実施 ② 六甲教会課題の発掘と対策推進 ③ 各部・各会のサポート
周年委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2028年12月の六甲教会創立80周年に向けての諸事業を立案、推進する。 ・2026年度は80周年記念誌の作成に伴う、原稿集め、その構成、体裁、印刷部数・配布計画等の骨子を定め、まず、デザインの依頼及び試し刷りを行う。
ハラスメント対応委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント事案が発生した場合、速やかに対応し、主任司祭の意思決定をサポートする。 ・年間1回ハラスメント研修会を実施し、ハラスメント防止に関する啓発・教育を行う。
美化委員会	<p>新年度から正式に委員会活動を開始した。初めての試みである以下の運営、運用が滞りなく行われるよう、管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会による清掃当番を解消して、新たに掃除グループをつくり、年間の掃除当番を割り当てた。 ・掃除マニュアルを作り、掃除道具も使いやすいものに変更した。 ・掃除ロボットを導入し、運用を開始した。 ・月に一度は外部業者に委託することとした(定期清掃は従来通り)ーなど。

聖週間から復活祭まで ～復活の主日に 15 名が受洗（4/12 の初聖体・祝福式で 1 名受洗）

枝の主日(3 月 29 日)



聖木曜日(4 月 2 日)

主の晩餐のタベのミサ



聖金曜日(4 月 3 日)

主の受難の祭儀



復活の聖なる徹夜祭

(4 月 4 日)



復活の主日(4 月 5 日)



☆4月5日(日)復活の主日の10時ミサで15名、12日(日)復活節第二主日の10時ミサ(初聖体・祝福式)で1名の洗礼式が行われました。新しく私たちの共同体の仲間となられた皆様の中から、3人の方々に受洗の感想をいただきました。

新しい仲間と出会う喜び

使徒ヨハネ 田島淳之介

まず、洗礼を授けてくださった渡辺神父はじめ、応援、祝福してくださった六甲共同体の皆さまに心より御礼申し上げます。私がこの六甲教会を初めて知ったのは一年前の四旬節、ちょうど人間関係に飢えていた時期でした。大学卒業で旧友と別れて数年経過し、交友関係の乏しさに少々違和感を感じていました。そしてミサに参加時、聖歌やオルガン音楽にととも魅了され、かつ親しく話し合える仲間に出会い、入信を決意しました。そして受洗後ですが、新しい人間関係を築き、神の民の仲間になれたことは第一の喜びです。そして過去の私よりも自分自身を大切にするようになりました。怠惰でもなく、また過度に自分自身に鞭を打って頑張ることでもない、神のみ心に適う生き方とは？

そのようなことをいつも考えています。現在も私は至らぬ点が多い罪人です。今後も色々なことで厄介になると思いますが、どうかよろしく願い申し上げます。



洗礼式を終えて

Michaela 西本 朱里

無事に洗礼式を終えることができ、ほっとしております。

みなさまからの温かい祝福に、心より感謝申し上げます。

カトリック六甲教会を初めて訪れたのは、私が小学生の頃、聖歌隊として亡き祖母が訪れた際に一緒についていった時です。このようなご縁ある六甲教会で洗礼を受ける機会をいただけましたことを大変うれしく感じております。

心配なことは、講座に参加して洗礼を受けるまで1年ほどでしたので、「私がこんなに早く受洗していいのか?」とも思いましたが、何か目には見えないものに導かれるように受洗させていただきました。これは本当に今でも不思議です。きっと神様は「この人は早く受洗させないといけない人」と思ってくくださったと感じています。

今後は、さらに信仰への理解を深めつつ、信者として何ができるのかを見極めて実践していきたい所存でございますので、みなさまご教示の程よろしく願いいたします。

うれしかったせんれい

クララ 金 知優

わたしは、せんれいをうけました。カトリックを信じますということをせんれいと教会で知りました。わたしは、教会でいろいろなことを学びました。かみしばいで、「ザアカイ」、「ノアのはこぶね」を見ました。とてもいいものがたりでした。わたしはじしゃもしたいです。いっぱい教会に来て、じしゃをしたいです。も一一つといろいろなことをおぼえて、さらにレベルアップしたいです。



わたしは教会のミサの中で一番好きなのは、ふっかつさいと、クリスマスです。どうしてかという、ふっかつさいは、イエスさまがごふっかつするところが心からうれしいし、一番で大切なミサだからです。クリスマスは、イエスさまがお生まれになった日で、その日は、とてもおちつきのある一日な上、二番目の大切なミサでいわいのある日だからです。

しんぷさんは、「ふつう、赤ちゃんの時にせんれいするよ。」と言っていました。わたしは、この年で、せんれいするのは、めずらしいんだなと思っていました。でも、めずらしい中でも、わたしは、どうしてもせんれいをうけたいと思いました。

わたしは、むかしからいやなゆめを見るので、せんれいをうけて、ならないようにするため、イエスさまを信じているため、せんれいをうけました。せんれいをうけて、とてもうれしかったです。

◆助祭に叙階 ニティンさんが六甲教会訪問

神学生だったニティン・コエリヨさんが、六甲教会でイエズス会の“中間期プログラム”を過ごしたのは2023年7月～24年3月。多くの信徒の皆様との交わりの中で過ごした姿を覚えておられることと思います。ニティンさんは今年3月14日（土）、イグナチオ教会マリア聖堂で、レンボ司教の司式により、助祭に叙任され、多くの司祭や信徒の皆さんに祝福されました。さらに秋の司祭叙階に向けて励んでおられます。



そのニティンさんが復活祭後の4月6～8日に六甲教会を訪問されました。平日でしたが、偶然会えた方もいらっしゃるでしょう。訪問の目的は、六甲学院でのミサのためでした。帰京の日の8日（水）早朝のミサでは渡辺神父が司式され、ニティンさんが福音朗読とお説教を担当されました。3年前より格段に（？）日本語が上達し、5kg痩せて少しスマートになったニティンさんに、次にまた会えることを楽しみにしています。

（ニティンさんは、9月12日（土）にイグナチオ教会（東京）で司祭叙階されます。）

イグナチオ喫茶 新体制のお知らせ



昨年、評議会・地区役員会で教会内の仕事の見直しを行い、それまで地区会が担当していたイグナチオ喫茶の運営を、有志の方をお願いすることといたしました。募集しましたところ、5グループと5名の個人の方に名乗りを上げていただきました。そうして皆様と相談し、今年もイグナチオ喫茶の運営を行うこととなりました。月に一度、少しの時間ではありますが、ミサの後、信徒間の交流の場としてご利用ください。

なお、ご支援いただきました2025年度イグナチオ喫茶のカンパより18,000円を教会に寄付させていただきました。ありがとうございました。イグナチオ喫茶は皆様からのカンパで運営しております。ご協力よろしく願いいたします。（イグナチオ喫茶世話役 藤井 敦子）

【社会活動部の今月の予定】

5月 13日（水）10時 手芸の集い 第1、第2会議室

5月 9日（土）10時半 炊き出し 小野浜グラウンド（中央区小野浜町3）。

一緒に車で行かれる方は 六甲教会に10時集合です。

教会事務に事前にご連絡下さい。



5月 18日（月）9時半 ともしび会 教会台所（児童養護施設の子どもたちへのケーキ作り）

写真は生クリームでデコレーションした4月のチョコシフォンケーキ。

●カトリック社会活動神戸センターからのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・

神戸中央教会に拠点を置く、カトリック社会活動神戸センターが、自主運営の日の炊き出しのボランティアを募集しています。

“自主運営の日”とは、毎月第3木曜日、第5火曜日、第5木曜日のことで、これらの日は、担当グループがないため自主運営になっています。その日は、9時に神戸中央教会内のカトリック社会活動神戸センターに集合、9時半ごろに小野浜公園へ出発し、12時半までに配食。センターに戻るのは13時から13時半ごろです。参加できる方はセンターに連絡してください。ぜひご協力お願いします。

連絡先は神戸活動センター（078-271-3280）。

==== 父の死から感じたこと、知ったこと、学んだこと ==== 吉村 光基

今年、1月15日に父、吉村信夫が亡くなった。入浴中のヒートショックによる溺死ということで、突然の死となった。最初は訳も分からず、ただただ驚きの方が大きく、その後、少しずつ悲しみの波が押し寄せてきた。亡くなって最初の日曜日。この日の夕方から通夜が行われることになっており、その朝10時ミサの先唱に当たっていた。担当を交代してもらうか考えたが、父なら「先唱したらいい」と言うような気がして、いつものように先唱を引き受けた。閉祭の歌「ごらんよ空の鳥」の2番の歌詞を歌っていると、父のことが思い起こされ、途中から涙が出て歌えなくなった。このことも今後忘れないと思う。

父は六甲学院で長年働いたので、その訃報はすぐに卒業生の方々へと伝わった。多くの卒業生の方から父との思い出話や慰めの言葉をいただいた。その思い出の中には、父らしさが沢山詰まっており、その話にふれるたびに、父の姿が思い起こされ、涙が出た。中でも「素行が悪く、停学になり、多くの先生や同級生が色眼鏡で私を見る中、吉村先生は私に温かく接してくださいました。先生がいなかったら立ち直れなかったと思います」というメッセージは、教師として、というよりは人としての父の在り方が伝わってくる内容で印象的だった。



さて、亡くなってから時間を過ごす中で、感じたこと、知ったこと、学んだことがある。三つ紹介したい。

一つ目は、死そのものは悲しいことであるけれど、寂しくはないということだ。いつも父が近くにいると感じている。父が大事にしてきたことは私の心の中に確実にある。そう考えると、いつも父は近くにいると感じる。特に大きなものは「信仰」である。「信仰」というものの計り知れない価値を改めて感じている。

二つ目は、兵庫教会で四旬節の黙想会として行われた山根道公氏の講演会に参加した時のことだ。遠藤周作氏と親しくされていた井上洋治神父の考え方として「人生マラソン」を知った。マラソンは、自分だけだと自分の持っている力以上のものは発揮されない。沿道で応援されているからこそ、自分の持っている力以上のものが発揮される。それは、人生でも同じである。応援してくれている人がいるからこそ、私たちは力を発揮できるのである。自分にとって大切な人は、亡くなると天国から人生マラソンを応援してくれるようになる。遠藤周作氏も、大切な母を早くに亡くしたが「いつも母がそばにいると感じる」と話していたそうだ。

この話を聞いて、「父が近くにいる」と感じていたのは、間違いではなく、私の人生マラソンを父は応援してくれているのだと実感した。悲しみは消えないが、私は、私自身の人生マラソンをこれからも前を向いて走り続けなければならない。応援してくれている人がいるのだ。この山根氏の話は、私を勇気づけてくれるものであった。

三つ目は、復活祭の捉え方について学んだ。人の死は、その故人の生前の生き方を顧み、大事にしていたことを確認する、最後の「教育の場面」である。残された私たち自身が、感じ取り、故人から「言葉にならないコトバ」を受け取るのである。私は父からたくさんのことを学んできたし、前述のとおり、その死からも改めて学んだことがあった。

そう考えると、「イエスの死」というものは、本当に大きな出来事であったのだと改めて学ぶ機会となった。亡くなってから今日に至るまで、イエスの大事にしてきたこと、その教えは伝わり、今も「ある」のである。この脈々と続いていること、そこには復活の大きな喜びがある。私も父から、その信仰、イエスの教えを伝えられてきた。おそらく、私の子どもたちにも信仰は伝わっている。それも大きな喜びである。復活祭について、今まで頭では理解してきたつもりであったが、ここまで実感として「復活の喜び」を感じたことはなかった。これは、父の死から学んだことなのではないかと考える。

(次頁につづく)

(前頁よりつづき)

【最後に】

最後になりましたが、本当に多くの方から父の死を悼み、慰めの言葉をいただいたこと、感謝しています。3月末には、東京にいる六甲学院の卒業生が企画した追悼ミサがありました。企画は26歳の卒業生数人が計画して、司式は山内保憲神父さまがしてくださいました。父の母校である上智大学構内にあるクルトゥールハイムでの追悼ミサは、父も喜んだのではないかと思います。参加者の最年少は父が最後に教えた学年(22歳)で、まだ若い彼らの中にも父がいるということが嬉しく思えました。

父の死から時間が経過し、これまでに考えたことを分かち合いたいと思い、今回寄稿しました。読んでくださり、ありがとうございました。

今後とも信仰のつながりを大切に、日々過ごしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

◀ 図書室からのお知らせ ▶ 3・4月に入った図書

☆わたしたちの手話 学習辞典 I 一般財団法人全日本ろうあ連盟(著・発行)
☆わたしたちの手話 学習辞典 II 一般財団法人全日本ろうあ連盟(著・発行)

※この2冊は手話ミサ奉仕者からの希望によって購入しました。

☆アイコン 神の国に開かれた窓(画集) 鞠安日出子(マリアヒデコ) 日貿出版社

◀お願い▶

※図書貸し出しの際、図書ラベルではなく、今後は

A1, A2, A3, … B1, B2, … C1, … の棚記号 の利用をお願い致します。

※教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その書籍の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

※その他 お気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。メモにお書きいただき、図書室内のご意見箱にお入れ下さるか、事務室にお預けください。

2026年度 春の墓参

復活節第3主日の4月19日(日)、「春の墓参」が行われました。朝の予報では夏日も予想されましたが、実際には気温の上昇も穏やかで、過ごしやすい空の下、加藤神父様の司式により執り行われました。



正午より始まった「納骨式」では、祈りと聖書朗読、参列者による祈りに続き、聖水で祝福された共同墓地へ12柱のご遺骨が納められました。最後に献香を行い、式は厳かに終了しました。

続いて行われた「墓参の祈りの集い」では、参列者全員で「主の祈り」「アヴェ・マリアの祈り」を唱え、埋葬されているすべての方々の安息を願って祈りを捧げました。最後に聖歌「主にまかせよ」を全員で合唱し、共同墓地での集いを終えました。

その後、加藤神父様と増井神父様による「個人墓地の祝福」が行われました。両神父様は上段からと下段からの2方向に分かれて、各地区の墓地をそれぞれ回られ、聖水を注ぎながら、各ご家族と共に心を合わせてお祈りを捧げてくださいました。

墓地に眠るすべての方々の上に、神様のお恵みと慈しみ、そして豊かな愛が注がれますようお祈りいたします。

尚、次回「秋の墓参」は11月1日(日)を予定しています。

墓地委員会 堀川 尚嗣(新任)

カトリック六甲教会

ミニコンサート
～三位一体の祝日によせて～
5月31日(日)

10:00 ミサ終了後、11:00 頃開始

主聖堂に於いて、ミサに続いて行われる20分間程度の小さなコンサートです。どなたでもご参加いただけます。

Chorus Cecilia Rokko (コルス・チェチリア・六甲)

当教会の女声メンバーを中心にエキシメニカルなメンバーで集まり、グレゴリオ聖歌をネウマ譜を読みながら歌っています。

Program

- ◆ グレゴリオ聖歌 Veni Sancte Spiritus 来てください、聖霊よ
- ◆ 高田三郎 聖霊の続唱
- ◆ グレゴリオ聖歌 Tibi laus, tibi gloria -三位一体の賛歌- あなたに賛美、あなたに栄光を
Magnificat -マリアの訪問に寄せて- マニフィカト(マリアの賛歌)
Salve Regina サルヴェ・レジナ

指揮：三浦 優子

主催 カトリック六甲教会音楽チーム

●●教会学校だより

4月11日に教会学校の入学式・始業式が行われました。この日は新1年生が1名出席し、新たに高校生リーダーが5名加わりました。休み時間には子どもたちの元気な声が響き、とても賑やかなひとときとなりました。また、4月12日には初聖体祝福式が行われ、初聖体が6名、祝福が1名でした。リハーサルでは緊張した様子も見られましたが、ミサでは落ち着いて式にあずかる姿が見られ、一人ひとりの成長を感じることができました。子どもたちのこれからの歩みが、イエス様の愛に包まれ、豊かに導かれていきますようにリーダー一同お祈りしています。(辻原 華)

🌸施設管理部からのお礼

4月12日～5月3日の桜の花がらの清掃にご協力有り難うございました。今年、世代を越えた多くの方に参加頂き短い時間で作業を済ませることが出来ました。既に葉桜、新緑の季節を迎え藤の花も咲き誇っております。



【2026年5月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					初金曜日ミサ 7:00 10:00	教会学校休み 教会報5月号 印刷日
3	4	5	6	7	8	9
復活節第5主日 手話付ミサ (10時ミサ中) 小教区評議会役員会 11:30 イグナチオ喫茶 (10時ミサ後)	教会事務室 休み(～6日)				◎金曜班A (灘北1・北・三田)	社会活動部 炊出し
10	11	12	13	14	15	16
復活節第6主日 世界広報の日 (献金) 小教区評議会 11:30			三日月会総会 13:00	聖マチア使徒	宣教・養成部 東北巡礼 (～16日)	
17	18	19	20	21	22	23
主の昇天					◎定期清掃	
24	25	26	27	28	29	30
聖霊降臨の主日 財務委員会 11:30 ◎日曜班B						教会報6月号 印刷予定日
31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
三位一体の主日 ミニコンサート 10時ミサ後					初金曜日ミサ 7:00 10:00 ◎金曜班B	

◎印は掃除当番グループ／地区 (午前7時時点で気象警報が発表された場合は中止)

・5月号の信徒動静は、11ページに掲載しました。

【編集後記】

◇いつもより開花が早かった桜は散るのも早く、今は新緑あざやかな頃となりました。教会のお庭も施設管理部の皆さんの花壇管理・計画が行き届き、色とりどりの花が目を楽しい。♪ごらんよ 空の鳥野の白百合を蒔きもせず 紡ぎもせずに おだやかに生きる♪ とくちびるに浮かぶ歌…。今月号のイチ押し原稿は、新受洗のこどもさんの、素直な喜びの気持ち、思いを記した一文でした。

◇教会報では教会の“今”をお伝えすることに力を入れています。制作に興味のある方、次世代を担ってくださる方、お声がけください。これからもよろしくお願ひします。(N.O.)

次回6月号の印刷・発行は5月30日(土)10時半からです。

原稿は毎月15日ごろまでに、教会受付へご持参いただくか、FAX、メールでお願いします。

(renraku@rokko-catholic.jp)。

皆さまからのご寄稿をお待ちしています。

・教会ホームページ(右のQRコード)では、カラーで教会報が御覧になれます。

カトリック六甲教会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21

電話 078-851-2846

FAX 078-851-9023

発行責任者 加藤 信也

編集 広報部

